

若者育成支援事業の実施について

令和3年第2回定例会における子ども文教委員会にて、若者育成支援に係る考え方について報告したところであるが、今年度の事業実施を踏まえ、令和4年度における若者支援事業の実施について、以下のとおり取りまとめたので報告する。

1 令和3年度の主な事業内容について

11月7日(日)にハイティーン会議報告会を実施した。

当日は中高生23名が出席し、次世代育成委員や各地区委員会等より15名の来場及び18名のオンライン参加があり、中高生の意見表明としての活動成果の報告や、参加者との意見交換などを実施した。

○参加した中高生の意見及び感想(一部抜粋)

- ・今回発表したことは学校に意見を持ち帰って、古い考え方を変えて、新しい学校をつくっていききたい。
- ・ハイティーン会議を通して、普段行うことのない「自分の意見をまとめて発表する」ことができて、自分の成長に繋がった。この貴重な体験で成長できたことは、今後様々な場面で活かしていきたい。
- ・ハイティーン会議に参加して、他校の方と色々話せたり、学年を超えて意見を言い合ったり、自分たちの意見を発信できたことが、良い体験だった。

2 令和4年度の事業の取組みについて

- ハイティーン会議の運営支援を見直し、中高生が自らの意見を表明し参加する居場所とし、中高生が自主性・自発性をもって取り組む活動への支援や地域参加へ取り組めるよう支援を行う。
- 大学生・社会人向けの事業として、区政課題に対する提案を区へ行うことを目的としたワークショップの試行実施に取り組む。
- 若者が必要な情報を得ることができるよう、区事業等の情報発信に努める。
- 産業振興センター跡に整備予定である複合交流拠点における、中高生向け施設整備検討に向けた児童・生徒へのアンケート調査を行う。
- 若者育成支援事業を効率的・効果的に展開し、若者への適切な関与や社会参画を促進させるために、学識経験者や専門的知見を有する民間事業者と連携を図りながら、各事業を一体的に進める。